

事務事業名	緑地保全事業費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 46 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市有山林等の良好な維持管理及び有効活用を図る。 ・保存樹木, 保存樹木, 保存生垣(以下「保存樹等」という。)の指定による緑の保全 ・憩いの森, 市有山林, 緑地の維持管理 ・みどり保全審議会の開催 ・藤沢すみどり保全協働事業の実施						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例, 藤沢市緑の保全奨励金交付規則					
事業実施内容	・保存樹木等の指定及び解除, 並びに奨励金等による助成制度を執行した。 ・憩いの森の賃貸借契約を締結するとともに, 憩いの森内での剪定, 伐採及び下草刈りを行った。 ・藤沢市所有緑地内での剪定, 伐採及び下草刈りを行った。 ・藤沢すみどり保全審議会の開催し, 緑の保全及び緑化の推進に関する施策及び工場立地法準則条例に基づく緑化について必要な事項を調査審議した。 ・市民団体との協働により, 市有緑地内の活動, 普及啓発及び環境調査等を行った。 ・森林環境譲与税基金を活用した樹林地復元業務を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (株)ソーゴーマテリアル 他) (委託等内容 : 善行地区下草刈り及び樹木剪定業務委託 他) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : (特定非営利活動法人)藤沢グリーンスタッフの会 他) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 133,959 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	34,995 千円	保存樹木等奨励金
		役務費	21,629 千円	危険木伐採作業手数料等
		委託料	69,898 千円	市有山林下草刈り及び樹木剪定業務委託等
		使用料及び賃借料 その他	1,145 千円 6,292 千円	憩いの森賃借料等 報酬, 旅費, 需用費, 負担金補助及び交付金
財源内訳	R2年度 支出済額 133,959 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	747 千円	
その他 (みどり基金繰入金 他)	29,267 千円			
一般財源	103,945 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	3.30 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	3.30 人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.10 人
---------------	--------

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	行政費用 A	116,131	138,385	148,701	164,626			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	116,375	136,028	146,703	164,174			
	事業費(支出済額)	97,042	109,453	115,007	133,959			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	19,333	26,575	31,696	30,215			
	①常時勤務職員等の給与等	18,438	25,308	29,847	28,344			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	140			
	③退職金相当額	895	1,267	1,849	1,732			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-244	2,357	1,998	452			
	①減価償却費	259	464	464	464			
	②退職給与引当金繰入額	-503	1,893	1,534	-12			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	271.65	427,501	322.34	429,317	343.37	433,060	378.35	435,121

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		支出の大半が維持管理費のため、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	近年の気候変動等により増えている台風等自然災害による倒木被害等が生じないように、市有山林の計画的かつ適正な維持管理を行う必要がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	管理業務の受託者と連携して危険な樹木等を早期に発見するとともに、その対応を図ることにより安全管理を徹底する。更に、樹林地復元業務を計画的に行うことにより健全な樹林を構築し、安全性の向上を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市有山林の適正な維持管理を実施するとともに、保存樹木等の指定や憩いの森の指定などにより民有緑地の保全が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後も市有山林の良好な維持管理を実施するとともに、森林環境譲与税等を活用し、安全かつ生物多様性に配慮した質の高い緑地の管理を実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
4	市有山林(公園緑地以外の緑地を含む。)の維持管理に関する事	無	無	1	
6	市有山林(公園緑地以外の緑地を含む。)の維持管理に関する事(協働事業に関する事)	無	無	1	1
7	市有山林台帳の整備及び管理に関する事	無	無	1	1
8	市有山林等の境界確定及び土地境界証明書の交付	無	無	1	2
9	特別緑地保全地区の指定に関する事	無	無	1	3
12	憩いの森の契約に関する事	無	無	1	1
13	憩いの森の賃貸借料の支払いに関する事	無	無	1	1
14	憩いの森の維持管理に関する事	無	無	1	
15	保存樹木等の指定及び解除等に関する事	無	無	1	2
16	緑の保全奨励金に関する事	無	無	1	3
17	みどり保全審議会の事務局	無	無	1	2
18	松くい虫防除事業の実施及び補助申請手続きに関する事	無	無	2	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	みどりいっぱい推進事業費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	001	説明	02	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 57 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	みどり豊かな潤いのあるまちづくりを目指して、普及啓発活動を行い、緑化の推進を図る。 ・公共施設等花壇草花植付業務 ・ポスターコンクール等の開催 ・緑と花いっぱい推進の集い開催 ・緑の基本計画及び緑の実施計画の取組						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例					
事業実施内容	・公共施設等花壇草花植付業務(長後駅東口大通り線他5カ所)の実施 ・植栽管理業務委託(藤沢駅南口他1カ所)の実施 ・ポスターコンクール, 標語コンクールの実施 ・第39回藤沢市緑と花いっぱい推進の集いの開催(11月実施,規模縮小し表彰式のみ)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (有)山龍造園土木興業 他) (委託等内容 : 公共施設等花壇草花植付業務 他) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 藤沢市緑と花いっぱい推進の集い運営委員会 他) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 4,509 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	76 千円	コンクール等記念品
		需用費	813 千円	学校花だん用品, 事務用品等
		委託料	2,601 千円	公共施設等花壇草花植付業務委託等
		負担金補助及び交付金 その他	1,015 千円 4 千円	藤沢市緑と花いっぱい推進の集い負担金等 報酬, 賃金, 旅費, 役務費
財源内訳	R2年度 支出済額 4,509 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金 その他 (みどり基金繰入金) 一般財源		598 千円 3,911 千円

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.40人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	27,220	27,753	27,358	18,885			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	27,622	27,925	27,647	18,890			
	事業費(支出済額)	10,212	10,563	11,124	4,509			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	17,410	17,362	16,523	14,381			
	①常時勤務職員等の給与等	14,750	14,667	13,712	13,011			
	②会計年度任用職員の報酬等	1,944	1,944	1,944	558			
	③退職金相当額	716	751	867	812			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-402	-172	-289	-5			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-402	-172	-289	-5			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	63.67	427,501	64.64	429,317	63.17	433,060	43.40	435,121

成果実績	指標名	藤沢市緑と花いっぱい推進の集いの参加者数	目標	1,000	単位	1,050	単位	434	単位	300	単位
			実績	891	単位	963	単位	306	単位	36	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		30,549.94		28,819.31		89,405.23		524,583.33			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、公共施設等の花壇草花植付業務や「藤沢市みどりいっぱい市民の会」「藤沢市企業等環境緑化推進協議会」「藤沢市緑と花いっぱい推進の集い」等の中止や規模縮小など、事業の実施が制限された。
(2) 課題解決のための今後の取組	新型コロナウイルス感染症拡大防止の制限下においても緑の普及啓発が実施できるよう新たな取り組みを検討する必要がある。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止の制限下においても感染防止対策を行い、「第39回藤沢市緑と花いっぱい推進の集い」を実施するなど、緑化の普及啓発活動を行った。	
今後の方針	事業の方向性	一部見直し
	新型コロナウイルス感染症拡大防止の制限下においても対応できる事業の実施運営のあり方など、これまで実施してきた事業を新たな視点で見直ししながら、引き続き、市民や市民団体等と連携した緑の普及啓発活動に取り組む。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	「藤沢市緑の基本計画」の策定(見直し)	無	無	1	3
2	「藤沢市緑の実施計画」の策定(見直し)	無	無	1	3
3	「藤沢市緑の基本計画」及び「藤沢市緑の実施計画」に関する進捗管理	無	無	1	1
19	緑化関連イベント及び緑化推進団体への指導・支援に関すること	無	有	1	3
20	緑化コンクール対応に関すること	無	無	1	3
41	公金(その他証明閲覧手数料)の取り扱いに関すること	無	無	1	3
47	消耗品等契約課で契約締結する物品の購入の執行	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	長久保都市緑化植物園運営費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	001	説明	03	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民に憩いの場を提供するとともに、都市の緑化推進の拠点としてみどりの相談、講習会、展示会等を開催し、緑化意識の普及啓発に努める。						
対象	1. 個人	市民				435,121	人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市都市公園条例, 長久保公園都市緑化植物園管理規則					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> みどりに関する各種講習会, 展示会, 相談業務 市民に向けた苗木配布の実施 指定管理者による市民との協働や市内の緑化団体等と連携した管理・運営 						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : (公財)藤沢市まちづくり協会) (委託等内容 : 藤沢市長久保公園(長久保公園都市緑化植物園)の管理運営等) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 68,848 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	68,848 千円	指定管理料
財源内訳	R2年度 支出済額 68,848 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	68,848 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	74,718	75,318	74,438	74,374			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	74,869	75,383	74,432	74,377			
	事業費(支出済額)	69,069	69,601	68,600	68,848			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	5,800	5,782	5,832	5,529			
	①常時勤務職員等の給与等	5,531	5,500	5,485	5,204			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	269	282	347	325			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-151	-65	6	-3			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-151	-65	6	-3			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	174.78	427,501	175.44	429,317	171.89	433,060	170.93	435,121

成果実績	指標名	市民との協働事業参加人数	目標	1,400	単位	人	1,430	単位	人	1,460	単位	人	1,490	単位	人
			実績	1,618	単位	人	1,592	単位	人	1,674	単位	人	320	単位	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由														
実績1 単位あたりの総費用 A/実績 (円)			46,179.23	47,310.30	44,467.14	232,418.75									

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1)	令和2年度末時点の課題	開園から約30年が経過し、老朽化した園内施設の整備が必要である。また、講習会等の事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による制約を受けるなど、当初の予定どおり実施することができなかった事業もあることから、今後、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、いかに事業を実施するかが課題である。
(2)	課題解決のための今後の取組	指定管理者や公園管理者と調整の上、計画的に園内樹木や事務所等施設の整備・修繕を行う。また、新型コロナウイルス感染症による制限下における緑化推進事業の実施手法を指定管理者と連携し検討、実施する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染症による制限下においても感染防止対策を講じ、可能な範囲で市民との協働事業や緑化講習会等を実施し、緑化の普及啓発に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	長久保公園は「藤沢市緑の基本計画」において「緑をひろめる」「緑とくらす」ための拠点として位置づけており、今後は「(仮称)生物多様性センター」としての機能を構築し、「(仮称)生物多様性サテライトセンター」と連携する拠点としての役割を担うべく、新たな市の施策の展開が期待されることから、引き続き指定管理者と協議し、事業実施に努めるとともに、実現に向けた検討を進める。また、新型コロナウイルス感染症の制限下においても対応できる市民及び市民団体との協働事業等のあり方について、指定管理者と連携し取り組む。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
28	指定管理者の運営指導に関すること	無	無	3	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2021/8/31
----	-------	----	-------	-----	-----------

成果実績	指標名	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
		実績	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		現状を保全する事業であることから、指標の設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		—		—		—		—		—

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	川名緑地については、保全に向け用地取得を進めることが必要であるが、取得時の財源確保が課題である。また、石川丸山緑地については石川丸山保全計画の推進にあたって権利者との合意形成に至っていないことが課題である。
(2) 課題解決のための今後の取組	川名緑地の土地取得について、財源としている「みどり基金」と土地公社による先行取得を有効に活用し、予算の平準化を図るとともに、買戻し時には起債等の財源措置の検討を行うなど、円滑な用地取得を図る。石川丸山緑地については、引き続き権利者に対し説明を行うとともに、必要に応じ保全計画の見直しを検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	川名緑地については、令和2年度には相続に伴う買取の申し出がなかったが、継続的に用地取得を進めており、一定の効果が上がっている。石川丸山緑地については、特別緑地保全地区の都市計画決定に向け、課題の整理を進める必要がある。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	川名緑地については、約2/3の用地取得が完了しており、引続き相続に伴う用地取得に努める。石川丸山緑地については、特別緑地保全地区の都市計画決定に向け、引続き課題の整理を行うとともに権利者に対し説明を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
4	市有山林(公園緑地以外の緑地を含む。)の維持管理に関すること	無	無	1	
9	特別緑地保全地区の指定に関すること	無	無	1	3
35	里地里山保全等地域の指定及び支援に関すること	無	無	1	1
36	緑地の取得に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	みどり基金積立金										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	003	説明	01	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 60 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市みどり基金の積立て						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市みどり基金条例					
事業実施内容	市民等からの寄附金の積立て, 基金運用益の積立て及び一般会計(ゴミ指定袋売払手数料)からの繰入れ等						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 83,542 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		積立金	83,451 千円	寄附金の積立て及び一般会計からの繰入れ
		積立利子	91 千円	基金運用益の積立て
財源内訳	R2年度 支出済額 83,542 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (みどり基金利子収入, 寄附金)	12,194 千円			
一般財源	71,348 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.20 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	0.20 人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.50 人
---------------	--------

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	71,885	74,758	80,853	86,081			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	71,935	74,780	80,851	86,082			
	事業費(支出済額)	70,001	72,853	78,907	83,542			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,934	1,927	1,944	2,540			
	①常時勤務職員等の給与等	1,844	1,833	1,828	1,735			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	698			
	③退職金相当額	90	94	116	108			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-50	-22	2	-1			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-50	-22	2	-1			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	168.15	427,501	174.13	429,317	186.70	433,060	197.83

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		寄附金のため指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	毎年の積立額は増加傾向にあるが、指定収集袋に係る廃棄物処理手数料相当額による歳入が占める割合が大きい。みどり基金条例に定める積立額50億円には届いていないことから、今後も一層の適正な運用を図ることが課題である。
(2) 課題解決のための今後の取組	今後予定している三大谷戸等の用地取得においては、特定財源の確保に努めるとともに、基金の適正な運用を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	令和2年度は、新たに長久保公園にみどり基金の紹介と募金ができるコーナーを設けるなど、基金への一層の協力を市民に周知した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後も予定している三大谷戸等の用地取得においては、多額の資金が必要となるため、引き続き、特定財源の確保や基金の適正な運用に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
37	寄附金、収益金及び市の資金の積立	無	無		3
38	寄附金、収益金及び市の資金の振替	無	無		3
39	基金の処分	無	無		3
40	緑化普及啓発に関すること	無	無	1	
41	公金(その他証明閲覧手数料)の取り扱いに関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	緑地改修事業費										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	005	説明	01	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	平成 26 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市が所有する緑地や山林の法面の安全性の確認と、法面崩壊による災害を防ぐための対策を行う。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・法面防護工事(川名緑地その2) ・石川鍛冶山緑地の法面に関する予備設計委託 ・宮前緑地他2緑地の法面防護工事に関する調査委託 						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 基礎地盤コンサルタンツ(株) 他) (委託内容 : 法面防護工事に係る法面調査 他) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 33,458 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	7,864 千円	法面調査委託, 法面予備設計委託
		工事請負費	25,594 千円	法面防護工事(川名緑地その2)
財源内訳	R2年度 支出済額 33,458 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (地方債)	25,500 千円	
一般財源	7,958 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.50 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	1.50 人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00 人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	173,306	23,630	152,759	47,276			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	173,683	23,792	152,746	47,281			
	事業費(支出済額)	159,183	9,337	138,167	33,458			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	14,500	14,455	14,579	13,823			
	①常時勤務職員等の給与等	13,829	13,751	13,712	13,011			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	671	704	867	812			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-377	-162	13	-5			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-377	-162	13	-5			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	405.39	427,501	55.04	429,317	352.74	433,060	108.65	435,121

成果実績	指標名	法面対策完了箇所数	目標	1	単位 箇所	-	単位 箇所	2	単位 箇所	1	単位 箇所
			実績	1	単位 箇所	-	単位 箇所	2	単位 箇所	1	単位 箇所
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			173,306,000.00		-		76,379,500.00		47,276,000.00		

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	平成26年度に法面対策事業の計画を策定し、対策を順次行っているが、神奈川県が実施している土砂災害特別警戒区域指定の結果によっては、本市の計画を見直す必要が生じる。
(2) 課題解決のための今後の取組	神奈川県が土砂災害特別警戒区域指定の結果を踏まえて、現状把握を行い、状況に応じて全体計画を精査しながら、事業の進捗管理を行うこととする。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市有山林について調査業務、設計業務を実施し、対策工事の実施に向けた進捗管理を図った。 川名緑地の法面防護工事を実施し、緑地法面の安全性の向上を図った。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	急傾斜地に隣接する住民の安全安心の確保に向けて、スケジュールを管理し、対策工事を計画的に実施する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
4	市有山林(公園緑地以外の緑地を含む。)の維持管理に関すること	無	無	1	
48	工事及び委託の発注に関すること	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	森林環境譲与税基金積立金										担当課	部課名	都市整備部みどり保全課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	006	説明	01	課等の長	麻生 和宏	電話	4351

1. 事業概要

事業開始年度	令和 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市森林環境譲与税基金の積立て						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等	法律等	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律, 藤沢市森林環境譲与税基金条例 他					
事業実施内容	国から譲与された森林環境譲与税の積立て						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 36,293 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		積立金	36,290 千円	森林環境譲与税の積立て
		利子	3 千円	森林環境譲与税基金利子収入
財源内訳	R2年度 支出済額 36,293 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (森林環境譲与税基金利子収入)	3 千円			
一般財源	36,290 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.20 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	0.20 人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00 人
---------------	--------

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
コスト 支出	行政費用 A			19,625	38,135	
	(1)現金を伴う支出 (千円)			19,021	38,136	
	事業費(支出済額)			17,077	36,293	
	償還金利子			0	0	
	人件費合計(①+②+③)			1,944	1,843	
	①常時勤務職員等の給与等			1,828	1,735	
	②会計年度任用職員の報酬等			0	0	
	③退職金相当額			116	108	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)			604	-1	
	①減価償却費			0	0	
	②退職給与引当金繰入額			604	-1	
	③不納欠損額			0	0	
	④その他 ()			0	0	
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)			45.32	433,060	87.64

成果実績	指標名	目標			-	単位	-	単位
		実績			-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		積立てを目的とした基金ではないため指標の設定はできない。					
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)					-		-	-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	当基金の使途である、市有山林における樹林地復元管理業務を計画的に進めるため、基金を積立てる必要がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	藤沢市内各緑地の計画的な樹林地復元作業の実施

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	令和2年度については、森林環境譲与税基金の使途として、金子の森(善行地区)及び西富第二緑地に充当し、樹林地復元作業を実施した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	令和2年度以降の森林環境譲与税についても、森林環境譲与税基金へ繰入れ、計画的な樹林地復元を実施し、一層の積立てや適切な執行を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
49	森林環境譲与税及び利子の積立	無	無		3
50	基金の処分	無	無		3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2021/8/31
----	-------	----	-------	-----	-----------